

意見書案第11号

平成28年12月22日

愛西市議会議長 大島一郎 殿

福祉消防委員会
委員長 真野和久

地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書について

地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書を愛西市議会会議規則第13条第2項の規定により提出する。

地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書（案）

政府の「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会」による「平成37年の必要病床数の推計結果」は、必要病床数は119万病床程であり既存病床数より20万床程の大幅な削減数字となっている。

持続可能な社会保障制度の確立を図るための医療費適正化計画にむけ、国が一方的に病床削減を強いることは、地域の医療ニーズに十分応じられないことになりかねない。また、医療機関の経営基盤を揺るがすとともに、医療従事者の雇用機会の喪失につながり、結果的に地域の医療提供体制を崩壊させることになりかねない。

地域の医療提供体制の確保は、地域住民のいのちと健康を守り、安心して生活するための最重要課題である。

よって、国は都道府県が策定する地域医療構想が、地域の医療を破壊することなく地域の実情や要望に応じた内容となるよう、国は推定方式の抜本的な見直しを行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月22日

愛知県愛西市議会

内閣総理大臣 殿
厚生労働大臣 殿
財務大臣 殿
総務大臣 殿
経済産業大臣 殿